

第5章 降下ばいじん量調査結果

大気中に浮遊している「ばいじん」や「粉じん」は、自重や雨の作用で地上に落下する。この落下したばいじんや粉じんを「降下ばいじん」という。

降下ばいじんについては、洗濯物や窓ガラスの汚れなどの苦情につながりやすいことから、大規模発生源のある地域において、大気汚染環境監視の一環として調査を実施している。

ばいじん：燃料その他の物の燃焼又は熱源としての電気の使用に伴い発生するすすや固体粒子

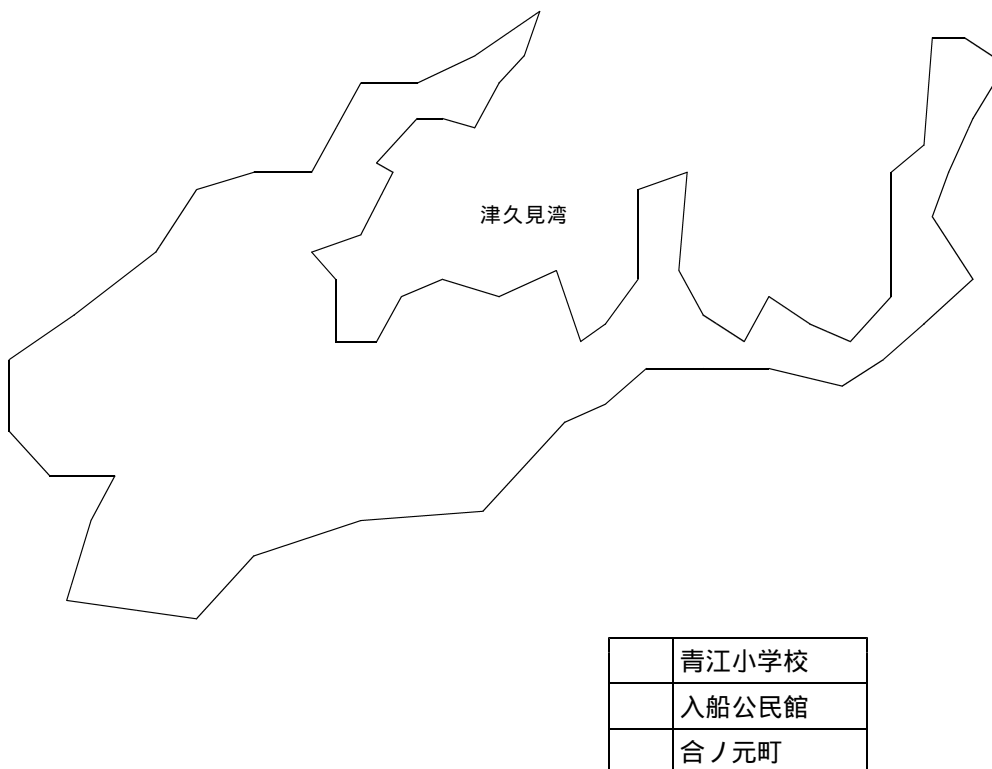
粉じん：物の破碎、選別等の機械的処理又は鉱石や土砂の堆積に伴い発生し、又は飛散する物質

調査地点・期間

調査地点：津久見市（青江小学校、入船公民館、合ノ元町）の計3地点。

調査期間：平成15年4月～平成16年3月

図5-1 降下ばいじん調査地点



調査方法

デポジットゲージ採取法で、1ヶ月間に自重又は雨に伴って降下するばいじん・粉じんを捕集する。

調査結果

測定結果を表5 - 2に示す。

降下ばいじん総量の年平均値は、青江小学校で3.9t/km²/月、入船公民館で4.9t/km²/月、合ノ元町で7.3t/km²/月であった。

また、3測定地点のうち入船公民館の5月、合ノ元町の5、7月において、降下ばいじん量が10t/km²/月以上となった。

表5 - 2 月別降下ばいじん測定結果（平成15年度）

		(t/km ² /月)												
津久見市	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
青江小学校	総量	4.3	9.9	4.5	3.8	4.6	6.3	2.9	2.9	0.7	1.4	3.0	2.9	3.9
	不溶解性成分	1.7	1.8	1.4	1.1	1.0	1.0	1.2	1.0	0.3	0.7	2.1	1.4	1.2
	溶解性成分	2.6	8.1	3.1	2.7	3.6	5.3	1.7	1.9	0.4	0.7	0.9	1.5	2.7
入船公民館	総量	4.1	10.6	5.1	5.3	5.2	7.2	4.3	5.3	1.1	2.5	3.4	4.4	4.9
	不溶解性成分	1.5	2.6	1.3	1.2	1.1	1.1	1.5	1.2	0.5	1.4	2.0	1.7	1.4
	溶解性成分	2.6	8.0	3.8	4.1	4.1	6.1	2.8	4.1	0.6	1.1	1.4	2.7	3.5
合ノ元町	総量	9.2	18.5	9.9	10.1	7.1	9.8	4.1	5.5	1.1	2.3	5.1	5.1	7.3
	不溶解性成分	4.0	3.6	2.8	4.7	1.4	2.2	1.5	2.0	0.3	1.1	3.0	1.8	2.4
	溶解性成分	5.2	14.9	7.1	5.4	5.7	7.6	2.6	3.5	0.8	1.2	2.1	3.3	5.0

経年変化

過去6年間の年平均値（津久見市3地点の降下ばいじん総量の年平均値）の経年変化を図5 - 3に示す。

最大値は、平成14年度の5.5t/km²/月、最小値は、平成11年度の4.4t/km²/月であり、若干の増減があるものの、全体としてはほぼ横ばい傾向で推移している。

図5 - 3 降下ばいじん総量の年平均値の経年変化

